

## 救急救命士を目指す日本体育大学生ら自衛隊中央病院他を見学

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は5月16日（木）日本体育大学生2名と教諭2名の自衛隊中央病院と対特殊武器衛生隊見学を支援した。

参加した学生（予備自衛官補合格者）は日本体育大学保健医療学部の所属で、救急救命士資格取得を目指して日々勉学に励んでおり、今回の見学を楽しみにしていた。防護服の試着をしたり、止血方法を実践したりと自衛隊の現場を目の当たりにし、緊張した面持ちながらも楽しんでいった。患者の移送用品を体験する場面では、ケース越しに作業を想定して手を動かしていた。学生からは「自衛隊の違った一面を見学することができて更に興味がわきました。救急救命士資格の勉強を頑張りながら、自衛隊の試験対策もやっていきたい」と嬉しい言葉があった。

市ヶ尾募集案内所は「今までの自衛隊イメージを良い意味で変えることができた見学会となった。自衛隊を就職先として考えてもらえる良い機会となり、つなぎ広報として効果が絶大だった。今後も大学と連携を図り、多くの志願者を獲得していきたい」としている。



移送用品を体験する参加者たち



防護服を試着する参加者たち



止血の結び方を実践する参加者たち

## 任期制士将来設計教育で海自隊員に予備自衛官制度をPR

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 兼本貢祐一海佐）は、5月28日（火）、海上自衛隊第2術科学校で実施された「任期制士将来設計教育（キャリアアビジョン設計教育）」において、海自隊員に対する予備自衛官等の制度説明を行い、予備自衛官・即応予備自衛官への積極的な志願を呼びかけた。

本教育は、主として1等海士を対象とし、近い将来設計のために必要な知識を付与するとともに自己の在り方の確立と能力開発を図る動機付けを目的として実施されており、今回は管内の部隊や艦艇から集合した隊員34名が参加した。

当日は、予備自衛官・即応予備自衛官の処遇や訓練内容等についてスライドを使用し紹介した。特に、即応予備自衛官については、陸上予備自衛官を経ることにより海上自衛官でも志願が出来ることなどに併せ、昨年の西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震災害派遣における即応予備自衛官の活躍状況を紹介した。

教育後には「制度相談窓口」を設け、より詳しい制度説明を実施し予備自衛官等制度に感心を深めてもらった。

神奈川地本は、「任期満了、依願、定年などの違いはあっても、誰しも自衛隊を離れる時がやってくる。退職後も予備自衛官等制度を積極的に活用して、在職中に培った知識や経験を活かし地域社会に貢献して頂きたい。制度について詳しく知りたい方は、気軽に地方協力本部に相談して欲しい。」としている。



予備自衛官等制度について  
聴講する海上自衛隊の任期制士



制度相談窓口